

特集

かすかべ整形

かすかべのオアシス

痛みと一緒に向き合う

癒しの根本は愛



地域住民に愛される かすかべ整形って どんなところ？

江戸時代に日光街道の宿場町として栄えた埼玉県春日部市。春日部駅東口から5分ほど歩いたかすかべ大通りに、かすかべ整形がある。レトロ調のレンガの建物に足を踏み入れると、待合室にあふれる活気に驚かされた。病院にありがちな、どことなくしんみりした空気はここにはない。聞けば、絵を持参して壁にかけたり、植木に水をあげたり、まるで自分の家のようにクリニックを大切にしてくれる患者さんもいるのだという。その理由はいったいなんなのだろう？

先端の医療と まごころの診療

かすかべ整形は、遠田泰平院長と約20人の若いスタッフが中心となって、患者さんの治療と医療の理想の追求に情熱を傾ける整形外科医院だ。フィロソフィーとするのは、最先端の医療の提供とまごころを込めた診療。心と体の両面を踏まえた治療とリハビリテーションを目指している。体の痛みやスポーツによる外傷の治療



といった整形外科が行う一般的な診療のほかに、かすかべ整形は関節リウマチ、骨折、傷の治り、痺れや肩こりなどと深い関係がある禁煙外来や、体が本来持つ回復能力を引き出す再生治療にも取り組んでいる。再生治療といえば、スポーツ選手の肘の治療に導入している多血小板血漿（PRP）療法が注目されているが、かすかべ整形はPRP療法よりも効果の高いPRP・FD療法を行っている。こういった埼玉県内でも珍しい最新の医療を取り入れているのも「できる限りの診療を患者さんにあげたい」という院長の思いの現れだ。

ひとりひとりが 本当に大切な命

リハビリ室へ続く廊下では、高齢の患者さんが孫に接するように医療スタッフに笑いかけている。医療を施す側と受ける側の垣根がいい意味でない。フラットで接しやすい雰囲気は院内には満ちている。中にはここに来てスタッフと話をすることを楽しみにしている患者さんもいるというが、そんな場所こそが医療のユーートピア（理想郷）なのではないだろうか。
2016年に遠田院長がクリニックを引き継いでから3年半。院長とスタッフが「患者さんひとりひとりが本当に大切な命」と思いながら蒔いた愛の種がいたるところで花開いているを見る思いがした。